

ノロウイルスの消毒

<消毒のポイント>

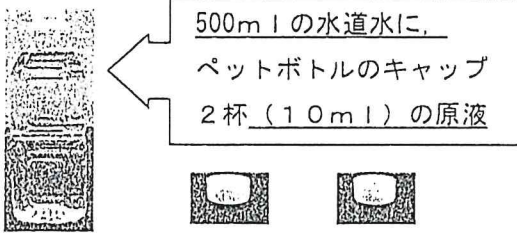
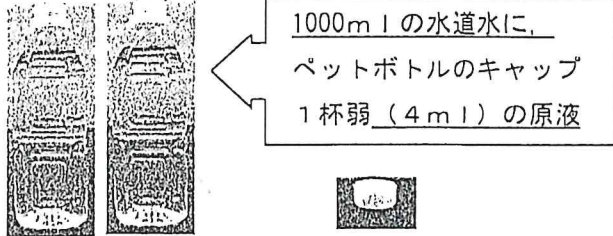
- 次亜塩素酸ナトリウムや加熱(85℃以上で1分以上)による消毒が有効です。
- 家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できます。
- アルコール系消毒薬による消毒は、効果が不十分です。

<塩素系漂白剤を使った消毒液の作り方>

原液 → 市販の塩素系漂白剤の塩素濃度は、約5%です。

塩素濃度が0.02~0.1%になるようにして使用します。

500mlのペットボトルを用いて作る場合

0.1% (塩素濃度 1000ppm) 消毒液	0.02% (塩素濃度 200ppm) 消毒液
<ul style="list-style-type: none"> ○ 便やおう吐物で汚染された場所(床・トイレなど)の消毒 ○ おう吐物などの廃棄(袋の中で廃棄物を浸す) ○ 汚染された衣類のつけおき消毒 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調理器具、食器などのつけおき消毒 ○ ドアノブ、手すり、蛇口など直接手で触れる場所の拭き取り消毒
<p>$10\text{ml} \times \text{約}5\% / 500\text{ml} = \text{約}0.1\%$</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> <p>500mlの水道水に、 ペットボトルのキャップ 2杯(10ml)の原液</p> </div> </div>	<p>$4\text{ml} \times \text{約}5\% / 1000\text{ml} = \text{約}0.02\%$</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> <p>1000mlの水道水に、 ペットボトルのキャップ 1杯弱(4ml)の原液</p> </div> </div>

注意：○次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)の使用にあたっては、「使用上の注意」を確認しましょう。

○次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)は金属腐食性がありますので、消毒後の薬剤の拭き取りを十分に注意してください。

○皮膚への刺激が強いため、直接触れないようビニール手袋などを使用してください。

○調理器具等は洗剤などを使用し十分に洗浄した後、次亜塩素酸ナトリウム(塩素濃度200ppm)で浸すように拭くことでウイルスを失活化できます。

○消毒液を保管しなければならない場合は、消毒液の入った容器は、誤って飲むことがないように、消毒液であることをはっきりと明記して保管しましょう。

新型コロナウイルスについて

全国で感染者が相次ぎ確認されている「新型コロナウイルス感染症」、報道番組などで耳にすると、いつ自分が、家族が感染するか不安をいだいてしまいますね。

予防は、やはり「手洗いが重要」ということなので、ご家族でインフルエンザなどによる感染症の予防を基本として励行しましょう。

○新型コロナウイルス感染症とは？

- ・過去ヒトで感染が確認されていなかった新種のコロナウイルスが原因と考えられる感染症です。

○コロナウイルスとは？

- ・人や動物の間で広く感染症を引き起こすウイルスです。

(首相官邸ホームページ参考)

*新型コロナウイルス感染症についての正しい情報については、厚生労働省、国立感染症研究所のホームページなどをご参考ください。

<新型コロナウイルス感染症の予防のポイント>

全国で感染者が相次ぎ確認されている新型コロナウイルス。海外渡航する道民や訪日外国人の多い道内

健康医療大(札幌市東区)の高島郁夫教授(公衆衛生学)

予防のポイントは 札幌保健医療大・高島教授に聞く

新型コロナウイルスの感染を防ぐポイント

<ul style="list-style-type: none"> ① 帰宅時、調理の前後、食事の前などに、こまめにせっけんで手を洗う。手洗い後に消毒用アルコールを使うのも有効 ② ドアノブや照明用スイッチの消毒は、次亜塩素酸ナトリウム(家庭用塩素系漂白剤)を使う ③ 人混みや繁華街への外出を控える ④ 十分な休養とバランスの取れた食事をする。加湿機などで室内を適度な湿度に保つ 	<p>※札幌保健医療大 高島郁夫教授への取材を基に作成</p>
<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 「せきエチケット」を守る → マスクを着用する。他人と使い回しをせず、1日1枚使用。外す時はフィルター部分に触れないように注意 → マスクがない時はティッシュやハンカチで口や鼻を覆う。とっさのときは衣類の袖で覆うのもよい 	

に聞いた。
(聞き手・久保田昌子)

手洗いが重要、消毒有効

新型コロナウイルスは感染経路が不明でワクチンもありません。インフルエンザや風邪と同様の予防策を講じるのがよいでしょう。感染を防ぐには手洗いが重要。ただ、雑に洗うと手のしわに隠れたウイルスが出て、逆効果というデータもあります。消毒用アルコールは成分が薄まらないよう、手の水気を拭き取ってから使うこと。ゼリー状の「ジェルタイプ」だと蒸発

北海道新聞朝刊2月1日(土)より

は、次亜塩素酸ナトリウムを含む家庭用塩素漂白剤での消毒が有効です。水で薄めて使うとよいでしょう。感染した場合、せきやくしゃみでウイルスを拡散させる恐れがあります。人の集まる場所ではマスクを着用し、ない場合はティッシュやハンカチで口や鼻を覆います。外出時に手袋をすれば、ウイルスに直接触れるリスクを減らせます。